

乳清で育てたブランド豚

ヤスタダヨーグルトと組む

食肉加工・販売の佐藤食肉(阿賀野市)は1月末、ヤスタダヨーグルト(同)のヨーグルト製造過程で出るホエイ(乳清)を飼料として与えたブランド豚を発売する。地元企業と連携したブランド肉の第2弾となる。地元の地ビール会社などと昨年売り出した第1弾の「あがの姫牛」では加工食品の販売を本格化。地域資源を活用したブランド肉の販売を通じて地域活性化にもつなげる。

ブランド牛加工品も開発

1月末に発売するのはブランド豚「純白のピアンカ」だ。地元のヤスタダヨーグルトで出るホエイを長岡牧場(長岡市)が見附市内の農場で飼料として活用しブランド豚を育成。佐藤食肉がブランド豚を県内の外食店やレストランなどを通じて販売する。

ブランド名にはホエイの色や雪国の新潟県で育てられたという意味を込めて「純白のピアンカ」と名付けた。月1〜2割程度を出荷し、販売動向を見ながら、まずは月間2000万円の売上高を目指す考えだ。

佐藤食肉によると、ヨーグルトの製造過程で副産物としてできるホエイは、ビタミンやアミノ酸などを豊富に含む。子豚に与えると健康で食欲旺盛な豚に育ち、香りが良くなり、さらさらとした旨さの豚肉ができるという。

昨年6月に発売した和牛と乳牛の交雑種の新ブランド「あがの姫牛」では、精肉だけでなく加工食品の販売を拡大する。昨年11〜12月にかけて同牛肉を使ったコロッケやレトルトカレーなどを開発。17年から本格的に販売を始める。

同ブランドはクラフトビールの製造や結婚式場運営などを手掛ける天朝

開グループ(阿賀野市)がビールの製造時に発生したビールかすを提供。乳酸菌などの食品・素材を開発を得意とするバイオテックジャパン(同)が乳酸菌を配合して肉牛に適した飼料を製造し、白井農畜産(同)がブランド牛を育てている。

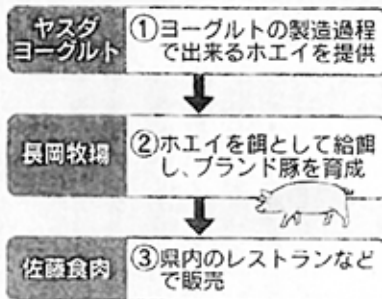
あがの姫牛はサシ(脂肪)が少なくとろけるような食感が特徴で「赤身のおいしさが人気となり、提供するレストランでの販売が好調だ」(佐藤食肉の佐藤広国常務)という。加工食品の品ぞ

ろえも充実し、インターネット通販やカタログギフトを通じた販売にも力を入れる。精肉と合わせ現在月間800万〜1000万円程度の同ブランドの売上高を、18年をめぐりに1.5〜2倍まで引き上げる計画だ。

また、地元産の食品資源を活用したブランド肉の販路を通じ、阿賀野市の認知度向上にも貢献したいと考えた。

佐藤食肉

地元企業と連携してブランド豚を売り込む



ヤスタダヨーグルトのホエイを使いブランド豚を育てる(見附市の牧場)

佐藤食肉によると、ヨーグルトの製造過程で副産物としてできるホエイは、ビタミンやアミノ酸



NGT48劇場1周年

記念イベントや特別公演

新潟県を拠点とする人気アイドルでAKB48の姉妹グループ、NGT48の公演劇場が10日で、開業から1周年を迎えた。劇場内では1周年を記念したNGT48メンバーによるイベントや公演を開催し、記念イベントに集まったファンはメンバーとの交流を楽しんだ。

NGT48劇場で10日午後1時から開かれた特別イベントには、柏木由紀さんや加藤美南さんらNGT48のメンバーが参加。3つのグループに分かれたメンバーが集まったファンに特技やダンスを披露したり、ゲームをしたりするなどしてファンを喜ばせていた。

午後6時からは1周年記念の特別公演も開催。AKB48の人気曲「ヘビーローテーション」や「桜の花びらたち」などを披露した。

首相、糸魚川を視察

きょう 大火の被害状況確認

安倍晋三首相は11日、現場を視察する。菅義偉糸魚川市を訪問し、昨年12月に大火に見舞われた市会見で発表した。同市

10月期の売上高は約55億円だった。地元資源を活用したブランド肉の展開を拡大することで、売上高の底上げにつなげる。